

地域の医療をサポートする情報誌

Caress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2021
春号
No.45

CONTENTS

特集1

時計台記念病院

泌尿器科開設

特集2

時計台記念クリニック・時計台記念病院

フレイル外来のご紹介

MEDICAL ONLINE

訪問リハビリテーションのご紹介 - よつば家庭医療クリニック

FOCUS

新型コロナウイルス感染症対策

～みんなにとって安心な医療を提供するために～ - 北光記念病院

NURSE*NURSE

この1年を振り返って

特集1

時計台記念病院
泌尿器科開設

時計台記念病院外来は、4月1日より泌尿器科外来を開設しました。
泌尿器科における診療内容と、腹腔鏡手術支援ロボット「ダビンチ Xi」を用いた手術についてご紹介します。



—— 体への負担が少なく
精度の高い手術を可能に
時計台記念病院泌尿器科 顧問
低侵襲手術センター長
平川 和志



時計台記念病院では4月より泌尿器科の外来診療および手術を開始いたしました。尿路・男性生殖器の悪性腫瘍（腎がん、膀胱がん、前立腺がんなど）、尿路感染症・尿路結石や前立腺肥大症などの良性疾患、また女性泌尿器科疾患（尿失禁、膀胱下垂など）が主な対象疾患となります。特に悪性腫瘍の手術・化学療法には力をいれており、最近は新型コロナウイルス感染症の影響で入院・手術まで長期の時間を要する場合も多いようですが、当科では月～金まで毎日手術を行う体制をとっており、入院まで待ち期間を極力短くまた患者さまの希望に添える形で治療を行っています。

診療は3名体制で行っており、全員が日本泌尿器科学会の指導医・専門医、日本泌尿器内視鏡学会の技術認定医であり、またロボット支援手術の術者の資格（Certificate）を有しており、高度の治療を行うことが可能な体制を整えています。

時計台記念病院では泌尿器科開設と同時に手術支援ロボット：ダビンチ Xi を導入し、まず泌尿器科にて前立腺がん、腎がん、膀胱癌に対してロボット手術を開始しました（その後、婦人科により骨盤臓器脱に対する仙

骨嚢固定術を開始しています）。ロボット手術は従来医師が直接腹腔鏡用鉗子を用いて行っていた手術操作を、ロボットを介して医師が遠隔操作で行うものです。ロボットによる手術操作は①最大10倍の拡大視が可能な3D内視鏡による立体視、②関節を有する鉗子により従来の腹腔鏡鉗子では不可能であった精密な切開・縫合が可能、③手振れの全くない正確な鉗子操作が可能であるといった特徴を有し、その結果、安全で出血量が少ない手術が可能です（特に膀胱がん、前立腺がんにおいては開腹手術の10%以下の出血量です）。患者さまにとっては疼痛が少なく回復が早いため、入院期間が短く社会復帰が早いといったメリットがあります。

手術用ロボットは産業用のロボットと異なり自立性に動くことはありません。術者の手の動きを（手振れを除去した状態で）忠実に再現するため精密な手術が可能となりますが、そのため術者の技量が手術成績に反映されるという点ではこれまでの手術と変わりはありません。当院の泌尿器科医3名はいずれも数百例以上のロボット手術の執刀経験を有しており、高度で安全な医療を提供いたします。

「ダビンチ Xi」の仕組み



ペイシェントカート（ロボット部）



サージョンコンソール（操作部）

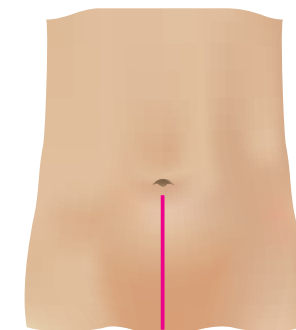


ヴィジョンカート（モニター部）

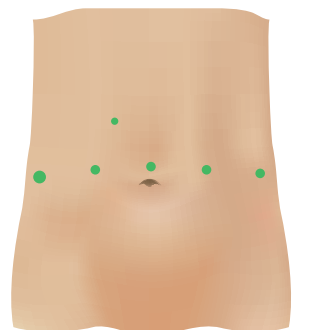
「ダビンチ」による手術のメリット

泌尿器科においては、前立腺がん、腎がん、膀胱がんは腹腔鏡手術支援ロボット「ダビンチ Xi」を用いた手術を行っていきます。「ダビンチ Xi」を使用した腹腔鏡手術は開腹手術と比べ、患者さまにとって次のようなメリットがあります。

- 痛みや合併症のリスクが減る
- 入院期間が短い
- 回復や日常生活への復帰が早い
- 傷口が小さく、出血が少ない



前立腺手術の開腹手術における切開部



前立腺手術のダビンチ手術における切開部

時計台記念病院 泌尿器科のご予約

予約受付番号

(011) 251-1221 (代表)

電話受付時間

14:00~16:30

<http://www.tokeidaihosp.or.jp/dep/hinyouki/>

特集2

時計台記念クリニック・時計台記念病院 フレイル外来のご紹介

時計台記念クリニック・時計台記念病院外来では、高齢者の心身の活力低下によるフレイル（虚弱）対策として「フレイルチェック」の取り組みを始めています。



—— フレイルとは

時計台記念クリニック
内科・呼吸器内科
栗原 真紀

厚生労働省は 2020 年より、フレイル健診・外来を推進し国民の健康寿命（日常生活に援助が必要ない・要介護状態でない期間）を延伸させる取り組みに力を入れています。

フレイルとは、加齢に伴い心身の活力（筋力や認知機能等）が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態のことであり、ちょうど健康と要介護の中間的段階のことを指します。

例えば、「横断歩道を青信号の間に渡り切れなくなった」「ペットボトルの蓋を開けるのが大変になった」「ここ 1 年で体重が 2、3kg 減り、以前に比べて疲れやすくなった」などを感じることがあればフレイルかもしれません。フレイルは、適切な介入・支援により、生活機能の維持・向上が可能な場合があります。

時計台記念病院・クリニックは地域ニーズに応じた保健・医療・福祉の充実につとめるという基本方針のもと、地域のために提供できる医療として、従来の専門的診療に加え、

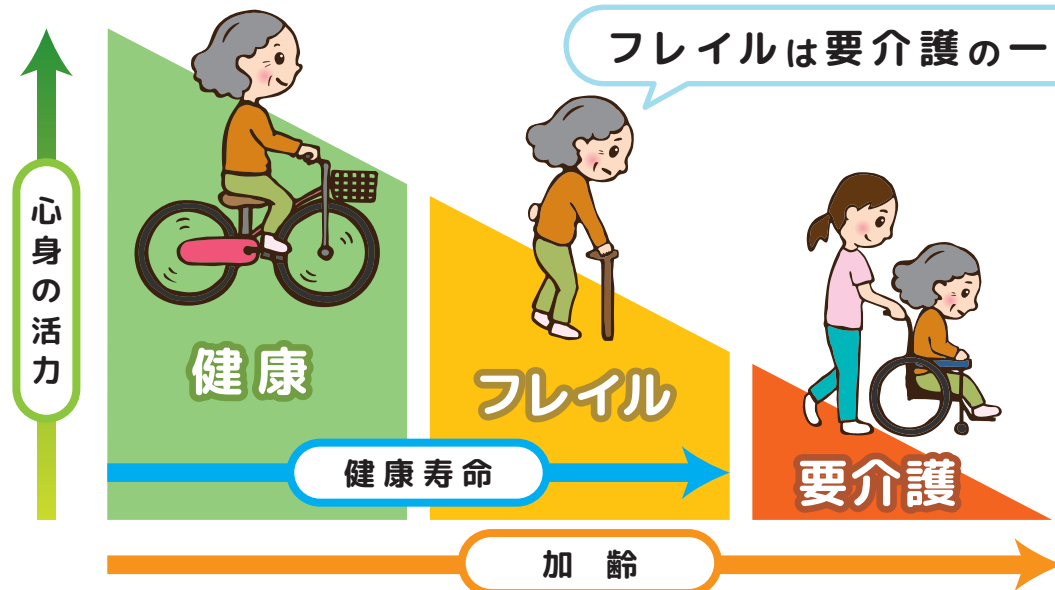
未病の段階から予防に向けての介入としてフレイル外来を開始しました。

フレイルの主な対象者となる後期高齢者は、複数の慢性疾患（例えば心不全や慢性閉塞性肺疾患等）をもち、フレイルによる症状等と混在することや、多くの医療機関の受診による多剤処方・残薬が生じやすいなどの問題もあるといわれています。「歳のせい」「心臓が良くないから」などからくる運動不足や、昨今の新型コロナウィルス感染症の影響による長引く外出自粛など種々の問題を鑑別するために、専門的診療を行う医療施設による疾病管理とともにフレイルの状態を確認することは非常に重要です。

実際のフレイル外来は、簡単な質問票にご記入頂いたのち、リハビリ職員による身体機能評価を行い、その結果等を踏まえ、医師による診察を実施します。病気との付き合い方や、運動、栄養（食事）、社会活動（介護サービス等）等を含む、より良い生活へのご提案をさせていただきます。気になるけれどもなかなか診療時間を割くことが難しい生活支援の面で、専門外来の先生方のお手伝いができるものとなっております。

ご本人のみならずご家族の生活の質（QOL）向上も図ることが出来るかもしれません。まずは、ご自身またはご家族の身体に留意頂き、少しでも気になる様子があればご相談ください。

フレイルは要介護の一手手前



フレイルチェックについて

簡単な質問票にお答え頂き、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が身体機能（運動機能・口腔機能）や精神機能について簡単に評価します。

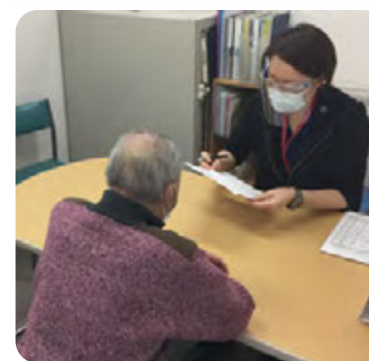
私たちが担当しています



質問内容の例

- | | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| ① あなたの現在の健康状態はいかがですか | ⑥ 6ヶ月間で2〜3kgの体重減少がありましたか |
| ② 毎日の生活に満足していますか | ⑦ 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか |
| ③ 1日3食きちんと食べていますか | ⑧ この1年間に転んだことがありますか |
| ④ 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | ⑨ ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか |
| ⑤ お茶や汁物等でむせることがありますか | ⑩ 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか |

リハビリ職員による身体機能評価



時計台記念クリニック

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881
ホームページ <http://www.tokeidaihosp.or.jp/cl/>

時計台記念病院

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433
ホームページ <http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

よつば家庭医療クリニックには、健康問題・生活問題を感じた時に、ケアプランに応じて理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が多種多様なリハビリを提供する訪問リハビリテーション事業所があります。

今回は訪問リハビリテーションで行っている取り組みについてご紹介します。

——訪問リハビリとは

日常生活動作の自立と家庭内や社会参加の向上を図ることを目的としたリハビリです。

訪問リハビリの目的をマッサージと思っておられる方が時折いらっしゃいますが、当事業所ではマッサージや自宅での運動だけではなく、その方が主体的に自宅での活動や社会参加を選択できるように介入する事を大切にしています。

——退院後の生活定着のために

入院で行われたリハビリで改善した機能・能力を、自宅生活の中で維持・改善し、生活定着と生活への自信に導くことが役割だと考えています。入院中には気づけなかった課題が、退院後に気づくこともあり、私たちは随時相談にのり対応します。令和3年度の介護報酬改定では退院日から3か月間は今までの2倍の週12回(240分)の介入が可能となります。当事業所も退院された直後の方たちに貢献できることを発信し続けていきます。



Introduction



よつば家庭医療クリニック

齋藤 恵子

訪問リハビリテーション
課長



——住み慣れた場所で生活するために……

「歩くときにフラフラする」「転ぶことが増えてきた」こんな様子がある時、訪問リハビリの出番です。専門的視点から原因分析と解決に向けた対策を実際の環境で一緒に見つけていくことができます。

そして、その対策が利用者自身に定着し、ご家族やご本人を取り巻く全ての環境を整えるための一役をしっかりと担えるようにしています。

——さいごに

訪問リハビリ利用期間中が、ご本人やご家族にとって良い時間であると感じてもらえることは使命だと思います。

そして、これからは訪問リハビリ卒業後も頼りになる・頼りたいと言われる事業所を目指していこうと思っています。



よつば家庭医療クリニック 訪問リハビリテーション

TEL (011)722-2533
<http://www.yotsubacl.jp/h-reha.html>

札幌市東区北12条東4丁目1番1号
カレスプレミアムガーデン

営業日： 月曜日～金曜日
営業時間： 午前8:30～午後5:00
休業日： 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

北光記念病院・北光記念クリニックでは安心して医療を提供するために感染対策を実施しています。院内で実施している感染対策、導入した物品について紹介いたします。

外来部門

本院外来、クリニックでは、来院者全員に問診票の記載をお願いしております。

2週間以内の症状や接触歴のある方は、別室で待機、診察を受けていただくことにしています。また、サージカルマスクを着用していない場合は、サージカルマスクへ変更していただくようにしております。クリニックでは、症状のある方は、2F地域ふれあいセンターを待機場所とし、クリーンパーテーション等で環境を整え、感染対策を取っております。



▲クリニック2F地域ふれあいセンター

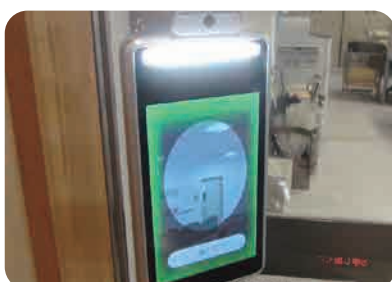
感染対策物品の導入

感染対策を行うに当たり、様々な物品を導入しました。

空気清浄機、オゾン発生装置、クリーンパーテーションなどの空気清浄システムを多く導入しました。感染対策としての換気も行っておりますが、より、空気の清浄化ができるよう、場所に応じて、使用しております。



▲クリーンパーテーション



▲非接触型 モニター付き検温器



▲感染対策の防護具

職員の感染対策強化

職員が新型コロナウイルス感染症を知り、基本的な感染対策を実施できるよう、職員研修会を実施しました。この状況でありますので、集合研修ではなく、資料を基に、知識を確認する形式にしました。また、入職時オリエンテーションや新人研修などでは、毎回、手指衛生、防護具着脱が正しくできるよう、演習を行うようにしています。これらの対策が実践できているかは定期的なラウンドなどで確認し、その場で指導を行っております。

また、新型コロナウイルスは粘膜を介して感染すると言われているため、患者様と対面で接する職員は、フェイスシールドまたはゴーグルを使用するようにしています。

職員の環境としては、休憩時はマスクを外して感染するリスクが高まるため、距離を取って、対面することがないように、テーブルや椅子を配置しています。また院内ではマスクを外しての会話をしないよう、呼びかけています。

病院は免疫力の低下した方がいらっしゃる場所です。そのため、感染

症を持ち込まない対策を各職員が実施しております。物々しい雰囲気、ご迷惑をおかけする場面もあるとは思いますが、安心して医療を提供するために必要な対策となりますので、引き続きのご協力をお願いします。



▲対面しないようにテーブルや椅子を配置した職員用休憩室

北光記念病院

札幌市東区北27条東8丁目1-6

TEL. 011-722-1133

<http://www.hokko.or.jp/>

北光記念クリニック

札幌市東区北27条東8丁目1-15

TEL. 011-722-1122

<http://www.hokko.or.jp/clinic/>

北 光

カテーテル検査室 R.A

今では一人でカテーテルの検査や治療を担当することも増えてきました。「一緒に頑張ろう」と言ってくれる先輩方や、カテスタッフの皆さんに支えてもらいながら日々を過ごすことができています。これからも頑張っていきたいと思います。

北 光

3病棟 S.E

思うようにいかない時期もあり、自分は看護師に向いていないと考える時期もありましたが、先輩や同期の声かけや支えにより乗り越えることが出来ました。周りの方への感謝の気持ちを忘れずに今後も頑張っていきます。

北 光

ICU/OR R.N

ICU に配属となり一年が経ちました。この一年で得たことは沢山ありますが、なにより一番嬉しい事は ICU から元気に転棟していく患者さまを見る事です。まだ ICU での経験が足りず急変対応にも慣れていませんが、これからも多くの知識や技術を身に付けていきたいと思います。

北 光

3病棟 M.K

初めは慣れない環境で毎日覚えることも沢山あり、大変でしたが先輩方にご指導頂き一年を乗り越えることが出来ました。二年目も知識と技術を身に付け、より良い看護ができるよう努力していきます。

北 光

ICU/OR S.T

日々目標に向かい、自分の未熟さを痛感し壁にぶつかることもありましたが、そんな時、患者様の笑顔や先輩方の声掛けに何度も励まされました。一年が経ち、まだまだ課題がありますが ICU/OR で一人前の看護師を目指します。

北 光

3病棟 H.F

病態や看護業務等、とても学ぶことの多い一年でした。不安でいっぱいでしたが、同期や先輩方の支えがあったからこそ、乗り越えることが出来ました。課題は沢山ありますが、日々自己研鑽して立派な看護師になれるよう頑張ります。

北 光

4病棟 A.N

初めは先輩方について回っていました。ですが、少しずつ自分で出来ることも増え、患者さまのことを一番考えたケアや処置などの看護を提供できたと思います。二年目も疾患の学びと看護を続けて、後輩にも教えられるように頑張りたいです。

北 光

4病棟 S.A

“看護師”としての成長を目指している自分の中に“一人の人間”としての成長を願う自分も存在している中で、業務の中で得られてきた先輩方の言葉を受けながら小さな一歩ずつではありますが進むことが出来ていることに感謝を感じる日々を送っています。今後もより多くの経験を積み反対に自分が感謝を受ける側になっていきたいです。

北 光

4病棟 M.T

この一年間で患者さんとの関わりを通して看護技術だけでなく、一人の看護師として多くのことを学ばせて頂きました。先輩方をはじめ同期や患者さんに支えられ成長することが出来たと思います。経験を活かし、新一年生を支えられるように日々努力していきたいと思います。

北 光

4病棟 M.S

この一年間、様々な経験をさせて頂きました。プリセプター含め、先輩方が細かに声をかけて下さったおかげでこまめに成長することができました。学んだことを新一年生にも伝えられるようにしていきたいと思います。

新人看護師

Nurse*
Nurse

この1年を振り返って

北光記念病院
&
時計台記念病院

北 光

2病棟 S.M

患者さまとの関わりから多くの学びを得て成長することができました。また、先輩、同期に支えられ一年を乗り切る事ができました。初心を忘れずに、二年目も知識や技術を身に付け自己の課題を解決し、成長出来るよう行動します。

北 光

2病棟 K.K

この一年間は先輩方や同期から多くのことを学ぶことができました。一年間を振り返ってみると自分の課題が何であるかを明確にすることができました。その課題を克服できるよう二年目は取り組んで行きたいと思います。

時計台

アネックス4階病棟 A.H

一から先輩方に指導していただき、一年間を通してそれぞれ患者さまに対して必要な看護について理解して実践することを考えていくことが出来ました。二年目からは疾患について勉強を深め、患者さまの全体像を理解して看護実践できるよう努力していきたいと思います。

時計台

アネックス3階病棟 U.M

一年を振り返って、つらいこともたくさんありましたが、日々患者さまにできる援助が増え、患者さまを通して成長することができました。これからも患者さまに合った看護を提供できるように関わっていききたいです。

時計台

アネックス5階病棟 M.K

入職してからの一年間は学ぶことが多く、あっという間のように感じました。患者さまや先輩方の指導のおかげで、自分自身が成長できる一年になったかと思っています。これからも学びを継続し、立派な看護師になりたいです。

時計台

アネックス3階病棟 S.H

入職した後は覚えることや、看護師としての知識や技術を身に付けることに精いっぱいでしたが、少しずつできることを増え、成長を実感しています。今までの経験をもとに、患者さまの意思を尊重できる看護を提供していきたいと考えています。

時計台

本館7階病棟 A.H

入職当時は初めての事が多く、不安もありましたが日々先輩方からご指導を頂くことで、現在では技術の習得や優先順位を考えながら業務を行うことが出来るようになりました。二年目からも学習を深め、患者さま・御家族によりよい看護を提供出来るように努力していきます。

時計台

本館8階病棟 M.I

まだ経験不足な事もたくさんありますが、先輩方から指導をしていただきながら多くの事を学ぶ事が出来ました。この一年間で自立して行えることも増え、少しずつ成長を実感しながら働く事が出来ました。二年目も先輩の姿を見て学び、患者さまにより良い看護を提供できるよう成長していきたいと思います。

時計台

本館8階病棟 M.K

コロナ禍で例年とは違った面は多かったと思いますが、辛いときや悩んだ時も先輩方に支えてもらいながら学びある一年になりました。まだまだ足りない点は多いですが今後も多くの経験を積みながら一歩ずつ成長していきたいと思います。

時計台

アネックス3階病棟 T.I

振り返るとあっという間に一年がたっていました。看護師として社会人として、先輩や患者様から学ばせていただいたことは多くありました。これからもコロナに負けず、頑張っていきたいと思います。

時計台

アネックス3階病棟 A.S

一年を振り返って、様々なことがありました。忙しくて大変な時も多かったですが看護師として、人としても成長できた一年だったと思います。まだまだ未熟な部分は多いのでこれからも頑張っていきたいです。

時計台

本館6階病棟 M.K

この一年間で先輩方、患者様から多くのご指導を頂きながら学びを深め成長していくことができました。まだまだ未熟な部分も多くありますが、自分の看護観を大切にこれからも看護師として成長していきたいと思います。

時計台

本館6階病棟 K.W

この一年間は先輩や多職種の方には様々なことを教えてもらい支えてもらいながら働いてこれたと感じています。まだまだ学ぶことしかないと思います。その中でも、自分自身が支える側になれるよう頑張っていきたいと思います。

時計台

本館6階病棟 R.K

この一年はあっという間に感じました。毎日新しい学びがありとても刺激的な日々を過ごしました。入職した時の自分が看護師であるということに対し不思議な気持ちと違和感を感じていましたが、現在は自信をもって自分が看護師であると思えるようになりました。

時計台

本館6階病棟 A.S

まだまだ未熟なところばかりですが、沢山のことを勉強し、経験することができた一年でした。患者さまからの「ありがとう」と笑顔を励みにこれからも努力していこうと思います。

時計台

本館6階病棟 Y.H

この一年間大変なことも沢山ありましたが、先輩方からのご指導や患者さまとの関わりを通し、沢山のことを学ぶことができました。二年目も様々なことを学び、患者さまが安楽に過ごせるような看護を実践できるようにしていきたいです。

TOPICS

リハビリテーション部 F・S 学術大会について – 時計台記念病院

2月26日に時計台記念病院リハビリテーション部主催「第9回リハビリテーション部 F・S 学術大会」を開催しました。“F・S”とは Fresh Staff もしくは First Step の略であり、院外での学術活動経験がない職員のスamppアップ及び卒後教育に貢献すること、学術活動に対する意欲の向上を目的として行われてきました。

本学術大会で発表された研究は参

加者からの質疑応答や意見を基に完成度を高めて院外で発表されており、次の Step へ進むきっかけとなっています。

今年行われた学術大会は初めてのオンライン開催となりましたが、時計台記念病院、北光記念病院、よつば家庭医療クリニック、けあ・ばんけいから計47名のスタッフが参加いただきました。

当日はオンライン上で慣れない環境にもかかわらず多くのディスカッションが交わされました。研究活動を通して得られた知見を今後の研究の更なる発展や患者様の利益につなげて参ります。

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

令和2年度 院内研究発表会 – 時計台記念病院

当初、11月11日に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、前日に急遽延期が決定し、3月2日から3月17日にて、初めての試みとなるWEB上での動画視聴という形に発表形式を変更して開催致しました。

前述期間であれば自由に閲覧可能としたため、通常開催時とは異なり、より多くの職員にとって、それ

ぞれの部門の業務内容や研究等を知り得る貴重な機会となったのではないかと思います。

次年度以降も感染状況によっては、同様の方法での開催となる場合がございますので、何卒宜しくお願い致します。

また、運営に関わって頂いたシステム管理室の皆様、急な発表形式の変更に対応頂いた演者の皆様、この

場を借りて改めて御礼申し上げます。



最優秀賞の演者に表彰状が授与されました

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

「ひな人形」を展示 – 地域包括ケア拠点施設カレス プレミアムガーデン

カレスプレミアムガーデンでは、毎年桃の節句の時期に正面玄関ロビーにひな人形を展示しています。

開設時に地域の方に寄贈されたもので、今年も入居者さまはもちろん通所されている方や外来患者さまが見事な七段飾りを楽しみました。

今年はコロナ禍のため行事や外出機会が少なくなっていることもあり、季節を感じる貴重な機会として、

ひな人形を多くの方が観覧されました。

まだまだコロナウイルスも予断を許さない状況ですが、少しでも皆様の癒しとなるよう感染対策を徹底して皆様の癒しとなるイベントを実施したいと思います。



地域包括ケア拠点施設カレス プレミアムガーデン ホームページ：<http://www.p-garden.jp/>

【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 カレス サッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科
腎臓内科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・腎臓内科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
泌尿器科

☐ 通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・形成外科・放射線科・眼科
婦人科・脳神経外科・外科・リウマチ科・血管外科・泌尿器科

■ 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

☐ 介護老人保健施設

☐ 短期入所療養介護

☐ 通所リハビリテーション

☐ 訪問リハビリテーション

■ ホテルプレミアム・レイクトーヤ

〒049-5721 虻田郡洞爺湖町 洞爺湖温泉 212-3

TEL 0142-75-1011 FAX 0142-75-1012

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号
時計台記念病院アネックス館1F

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

カレス プレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

☐ 通所リハビリテーション

☐ 訪問リハビリテーション

■ 住宅型有料老人ホーム

カレスプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

■ 居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

■ カレス訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

■ カレスヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

■ カレスデイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

■ カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

カレス サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>